

二輪車の交通事故防止

～車両特性を理解して防衛運転に努めましょう～

第78号

二輪車（原付含む）関与交通事故発生状況 ※平成29年～令和3年

事故類型	発生件数	死者数	負傷者数	構成率 (発生件数/全件数)	死亡率 (死者数/発生件数)	
車両相互	出会い頭	846	19	871	27.9%	2.25%
	右折時（右折直進）	525	8	542	17.3%	1.52%
	右折時（その他）	197	0	202	6.5%	0.00%
	左折時	368	2	369	12.1%	0.54%
	追突	327	1	369	10.8%	0.31%
	追越追抜時	65	1	66	2.1%	1.54%
	正面衝突	58	6	61	1.9%	10.34%
	すれ違い時	25	1	27	0.8%	4.00%
	その他	362	2	384	11.9%	0.55%
車両単独	185	7	179	6.1%	3.78%	
人対車両	75	1	79	2.5%	1.33%	
合計	3,033	48	3,149			

交差点事故（出会い頭、右左折時）が全体の約6割を占める。

二輪車側も特性（見落とされやすさ等）を踏まえた**防衛運転**が必要

見落とし・距離の見誤り等による交通事故

正面（車の運転者目線）での見え方



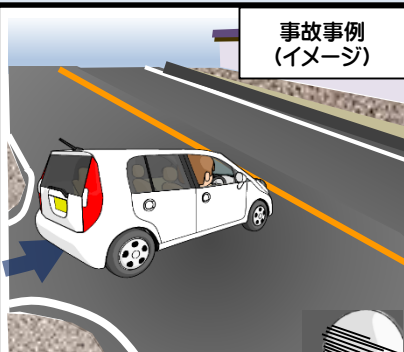
車両を横から見た状況



大きい車両は近く、小さい車両（二輪車）は遠くに見える（錯覚しやすい）

→ 対向車両（右折待ちの車両）等から距離を見落とされたり距離を見誤られる可能性がある

事故事例
(イメージ)



急に脇から車が出てきた、ブレーキが間に合わない

想定される交通事故事例

脇道等の交差道路や路外施設から進出してきた相手車両と出会い頭に衝突

交差点で急に右折を始めた相手車両と衝突（右折直進）

対策

交差道路や路外施設の出入口の他車両や右折待ちをしている車両に対して、「出てくる（右折する）かもしれない」と注意を払い、急な動き出しに対応できるように減速等の対応をする。

他車両によって生じた死角による交通事故

二輪車側の見え方



対向右折車側の見え方



位置関係(イメージ)



二輪車側、対向右折車側の双方とも、大型車によって相手が見えない状態にある

イメージ(事例①)

他車両(右折待ち)によって生じた死角による事故事例

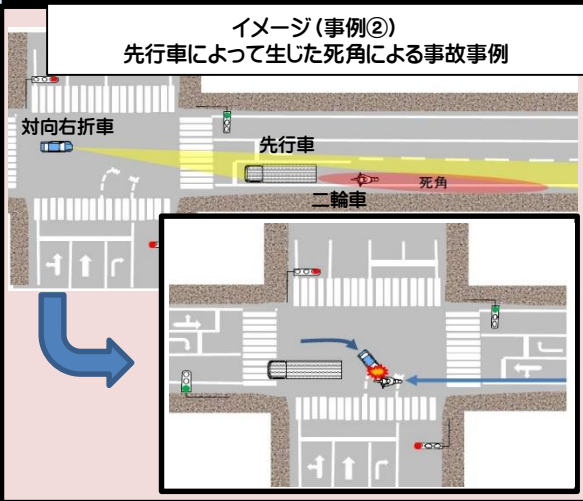


想定される交通事故事例

右折待ちの他車両によって生じた死角のため、双方相手の存在に気付かないまま進行して衝突
※事例①

イメージ(事例②)

先行車によって生じた死角による事故事例



先行車によって生じた死角となる位置取りを走行中、二輪車に気がつかないまま右折してきた相手車と衝突
※事例②

対策

他車両(右折待ちの大型車)によって右折車両の存在等が確認できない場合は、「右折しようとする車両がいるかもしれない」と意識し、交差点の手前で十分な減速等を行う。

先行車に続いて進行する場合は、十分な車間距離を保持し、対向車の死角となる位置取りを避ける。

死角による交通事故

位置関係(トラック右側から撮影)
※二輪車ではなく普通車で再現



ドアミラー・目視ともに左側方の車両の確認ができない

想定される交通事故事例

大型車両と死角となる位置(写真では左側方)を走行中に、左折してきた相手車両と衝突(左折巻き込み)

イメージ

車両特有の死角による事故事例



対策

走行する際は、車両の死角となる可能性がある位置取りを避ける。(特に側方は、ドアミラーの死角となりやすい)